

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

大学

企画課管理用 管 — B — 3

推進主体	図書館
責任者	図書館長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管	—	B	③新東1号館竣工後の活用促進策の検討	令和4年度	令和9年度	あり(予定)

① 目的・内容

【目的】 新東1号館の活用を促進することで、学生がさまざまな知的好奇心の種に触れ、自分の意志で主体的に学び成果を発信することができるようになることを目指す。

【内容】 新東1号館での各種セミナー・イベント開催

■大学主催の各種セミナー・イベントの開催
 新東1号館には、図書館と国際センターが入ることとなっている。新しい図書館には対話をしながら学習する場が増える予定であり、1階には学生センター学生課管轄のイベントスペースも設置される。それらのコミュニケーション可能なスペース(図書館4階 オープンスペース、新東1号館1階 イベントスペース)を使い、学内各部署と連携しこれまで以上に幅広いテーマでのセミナー・イベントを行い、学生の知的興味・関心を引き出すことを目指す。

図書館4階はプレゼン準備等ができるフロアでもあるため、イベント等の「プレゼン」が見える状態であることは学生の学習活性化にもつながると思われる。また、学内他部署との連携については、普段は用事がないと該当部署へ行かないような学生にも、学内で行われる数々の有益なセミナーを知ってもらい、ウォークインで気軽に参加することで後々自分事と捉えられるようになることが期待される。

図書館主催イベント例)ブックトーク、ビブリオバトル
 他部署との連携例1)国際センター主催 留学フェア、日本文化体験週間、チャットルーム、外国人留学生による異文化体験教室、各種説明会等
 他部署との連携例2)キャリアセンター主催 OB交流会などの企業との接点イベントを図書館オープンスペース等で行う(大学3年生以降の就職活動対象学年以外の学生にもPRして関心を持ってもらう)

■学生主催の活動に対し発表の場(スペース)を提供
 1階のイベントスペースについては、学生グループ主催(部活動等の課外活動、ゼミ等)の発表の場として学生センター学生課より貸出を行う。

学生グループ主催イベント例)課外活動文化系団体による発表活動(写真・書道・陶芸・美術展等)

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

【前提】

- ・10名～50名の中規模イベントであること(収容人数の関係から一度に60名を超える大規模イベントの実施は難しいため)
- ・参加対象は主に本学在籍の学生であること

【数値目標】

- ・イベント参加者数:大学学生数の約1割(900名)、1回あたりのイベント参加者数平均を20名とすると年間45回実施

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	新館準備		新館稼働	(イベント実施) (図書館主催)	(イベント実施) (他部署主催)	催施イベント (学生主催)	

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	延べ回数(参加者数)	大学学生数の約1割(900名)、1回あたりのイベント参加者数平均を20名とすると年間45回実施:これを最終目標として実施初年度(令和5年度)から等間隔で増加					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標	—	—	5回(90名)	14回(270名)	23回(450名)	36回(720名)	45回(900名)
実績	—	—	43回(約1300名)	43回(約1400名)	33回(約1,227名)		

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度	<p>(東1号館建設中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館開館準備 	<p>(東1号館建設中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館開館準備と本計画に伴う関係部署との調整を行った。 ・イベントスペース貸出のためのルールを作成及び調整を行った。 <p>★進捗段階:「意思決定」</p>
令和5年度	<p>(東1号館稼働開始)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の運営が落ち着いた後で図書館主催のイベントを開始 (目標:5回程度) 例) 新図書館ツアー、データベースセミナー、図書館セミナー等 ・国際センター主催各種説明会・イベントをイベントスペースや図書館内セミナールームで開催 (年5～10回) 例) 留学フェア(年2回)、チャットルーム(年3回)、日本文化体験週間(年2回)等 ・学生グループ主催イベント(発表活動)での使用 	<p>次の企画を実施した。(43回、約1300名)</p> <p>【大学図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースセミナー(年2回、参加者計74名) ・図書館セミナー(年1回、参加者計39名) <p>館内での開催を1階のイベントスペースで同時中継することでウォークインの方も参加できるよう形式を始めて試みた。</p> <p>○他部署のイベントと連携した展示2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語圏文化学科主催イベント「イルゼ・アイヒンガー生誕100周年企画展」と連携した展示『オーストリアを知る』(5/31～6/28) ・国際センター主催のイベント「日本文化体験週間」との連携した展示『日本文化をつまみ食い～合気道、書道、茶道・伝承遊び～』(11/10～12月中旬) <p>【国際センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期研修説明会(年11回 参加者計 約300名) ・協定留学生バディミーティング(年2回 参加者計 約50名) ・日本文化体験イベント(年2回 参加者計 約50名) ・チャットルーム(年7回 参加者計 約200名) ・異文化体験イベント(年11回 参加者計 約200名) ・留学フェア(年2回 参加者計 約200名) ・留学生との読書会(図書館との共同開催/年1回 参加者数約20名) ・各種オリエンテーション <p>上記イベント等を国際センター学生ラウンジのほか、隣接したイベントスペースを活用し開催することで、昨年以前と比べて参加者数を大幅に増やすことができた(参加者数 延べ1000名)。</p> <p>【学生によるもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「草月流いけばな同好会」による華道展 <p>【学生相談室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニマルセラピー体験会(参加者 171名) <p>★進捗段階:「実施展開」</p>
令和6年度	<p>(イベントの拡大および部署間連携イベントの実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館主催のイベントをより充実させる(目標:5回程度) 例) 図書館ツアー、データベースセミナー、ブックトーク、図書館セミナー等 ・他部署との連携したイベント・展示を開催(目標:3回程度) 例) 各課主催のイベント、セミナー等に合わせたテーマ展示、他部署主催のイベントを館内スペースで行う等 ・国際センター主催にて、令和5年度同様、多様なイベントや説明会を開催する ・他部署との連携を図り、新規のイベント・説明会を開催することで、これまで国際交流や留学に関心がなかった学生(潜在層)にも、関心を持ってもらうきっかけを提供していく ・学生グループ主催イベント(発表活動)での使用も引き続き支援する 	<p>次の企画や利用があった。(43回、約1400名)</p> <p>【大学図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館セミナー(年1回、参加者計63名) 初めて楽器演奏(琵琶)を伴う企画とした。 ・ラーニング・サポートセンターとのタイアップ企画「最強のレポートセミナー」(年2回、参加者計約70名) ・国際センター主催のイベント「留学フェア」と連携した展示『留学先を知る』(5/30～6/27) ・学習院創立150周年第3回記念事業 特別講義「君たちはどう生きるか」と連携した展示『「どう生きるか」を考えるために』(10/7～11月中旬) ・政治学科のゼミによる他大学ゼミとの合同企画(参加者 30名) ・大学図書館、学内部署、また学生団体(ゼミや部活動等)によるポスターやパネル展示が可能となる可動式展示ボードを購入。 <p>【国際センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期研修説明会(年13回 参加者計 約200名) ・協定留学生バディミーティング(年4回 参加者計 約100名) ・日本文化体験イベント(年2回 参加者計 約30名) ・チャットルーム(年9回 参加者計 約250名) ・異文化体験イベント(年6回 参加者計 約200名) ・留学フェア(年2回 参加者計 約250名) <p>その他各種オリエンテーションも、別途多数実施している<開催回数、参加者数には含めず>。</p> <p>【学生相談室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニマルセラピー体験会(参加者 216名) <p>上記のうち特に、部署間連携企画(「最強のレポートセミナー」、「留学フェア」)において、参加者の増加や、学生の関心を高める動機付けを図ることができた。</p> <p>★進捗段階:「展開完了」(目標回数、人数は達成)</p>

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

<p>(2025年度)</p>	<p>(イベントの拡大継続および部署間連携イベントの実施継続) 東1号館に関わる各部署にて協力しながら、さらなる利用促進を図る。</p> <p>【大学図書館】 ・図書館主催のイベントや他部署と連携したイベント・展示を引き続き開催し、より学生が足を運びやすい図書館(例: 大学図書館セミナー、選書ツアー、ブックトーク、学生団体による展示等)、学修の役に立つ場所や知的好奇心を刺激する場所としての図書館(例: レポートセミナー、ガイダンス、他部署との連携セミナー)を目指す。</p> <p>【国際センター】 ・過去の2年と同様に、国際センター主催のイベントや説明会を国際センター学生ラウンジやイベントスペースで積極的に開催し、利用促進を図る。 ・国際センターを訪れた学生が海外や異文化に興味を持つきっかけを提供できるよう、国際センター学生ラウンジのレイアウトや装飾に工夫を施す。 (例) 留学生や協定校からのお土産を展示するスペースの設置</p> <p>【学生センター】 ・学生グループ主催イベント(発表活動)での使用について、引き続き支援する。</p>	<p>次の企画や利用があった。(33回、約1,227名)</p> <p>【大学図書館】 ・ラーニング・サポートセンターとのタイアップ企画「最強のレポート・卒論セミナー」(年2回、参加者計約75名) ※人数は1回目のみ今年度より女子大学学生も参加対象に加え、参加があった。 ・図書館セミナー(年1回、参加者計27名) 第41回日本図書館協会図書館建築賞受賞記念、図書館と建物についてのセミナーを企画した。 ・政治学科のゼミによる他大学ゼミとの合同企画(参加者 25名) ・国際センター主催のイベント「留学フェア」と連携した展示『留学先を知る』(5/31～6/19) ・学生相談室主催のイベント(1階イベントスペース開催)アニマルセラピー体験会と連携した関連資料およびパネル展示(6/2～6/16) ・学習院創立150周年第4回記念事業 特別講義「アートで読みとく「大切なものってなんだろう？」」と連携した展示「観察と想像のための手引き」(9/26～11/30)</p> <p>【国際センター】 ・短期研修説明会(年11回 参加者計 約170名) ・協定留学生パディミーティング(年2回 参加者計 約50名) ・日本文化体験イベント(年3回 参加者計 約50名) ・チャットルーム(年4回 参加者計 約120名) ・異文化体験イベント(年2回 参加者計 約60名) ・留学フェア(年2回 参加者計 約270名) その他各種オリエンテーションも、別途多数実施している<開催回数、参加者数には含めず>。 新たにスペースを設けることができなかったが、協定校からのお土産の一部をカウンターに展示した。</p> <p>【学生相談室】 ・アニマルセラピー体験会(参加者 280名)</p> <p>【学生によるもの】 ・大学祭: 実行委員会企画(参加者 約100名)</p> <p>★進捗段階: 「展開完了」(目標回数、人数は達成)</p>
<p>(2026年度)</p>	<p>(イベントの拡大継続および部署間連携イベントの実施継続) 東1号館に関わる各部署にて協力しながら、さらなる利用促進を図る。</p> <p>【大学図書館】 ・図書館主催のイベントや他部署と連携したイベント・展示を引き続き開催し、より学生が足を運びやすい図書館(例: 大学図書館セミナー、選書ツアー、ブックトーク、学生団体による展示等)、学修の役に立つ場所や知的好奇心を刺激する場所としての図書館(例: レポートセミナー、ガイダンス、他部署との連携セミナー)を目指す。 ・戸山キャンパスの学生も参加しやすいよう、イベント開催情報、申込方法を広く周知する。</p> <p>【国際センター】 ・過去の3年と同様に、国際センター主催のイベントや説明会を国際センター学生ラウンジやイベントスペースで積極的に開催し、利用促進を図る。 ・兵馬俑を展示していたスペースに、留学生や協定校からのお土産を展示するスペース等を設置し、国際センターを訪れた学生が海外や異文化に興味を持つきっかけを提供できるよう、国際センター学生ラウンジのレイアウトや装飾に工夫を施す。</p> <p>【学生センター】 ・学生グループ主催イベント(発表活動)での使用について、引き続き支援する。</p>	